



MESSAGE FROM THE PRINCIPAL'S OFFICE

校長室だより 春休み号

河内長野市立高向小学校 令和7年3月24日



○ ご卒業おめでとうございます ～第126回 卒業証書授与式～



別れの春を押しとどめるかのような寒さの中、式場は卒業生と在校生の力強く、熱い想いに満ちた卒業式となりました。

卒業生26名は、この日を迎えるまでに、全校お別れ集会で合奏を披露し、見守り隊のみなさまへの感謝を伝えたり、最後の清掃活動として普段は行き届かない場所をきれいに掃除したり、6年間の思いをかみしめながら一步步巣立ちの準備を進めていました。どの瞬間も、中学校進学を控えた子どもたちの心を整え、未来を正しく見つめる力となっていたように思います。

保護者のみなさま、地域のみなさまには、本校の教育活動に多くのご理解とご協力をいただきました。心よりお礼申し上げます。

○ 大掃除で学校をピカピカに～1年間お世話になった教室にお別れです。～

毎学期末は、全学年が大掃除に取り組みます。進級した次の学年が気持ちよく学校生活を送ることができるように、子どもたちは、自分の使った机、教室のロッカー、壁やドアの汚れ、手洗い場や廊下など、隅々までいつも以上に気配りして掃除していきます。「先生、ここもやっていますか?」「見て!こんなに真っ黒。」など言いながら1時間。校舎も心もピカピカになり、高向小学校の令和6年度が終わりました。

今、このような清掃活動や委員会・クラブなど、「特別活動の時間」の良さが、海外でも注目されています。小学校の日常を記録した映画『小学校～それは小さな社会～』が、アメリカのアカデミー賞短編ドキュメンタリー部門にノミネートされたことでも話題になりました。

仲間と協力して活動する中で、一人ひとりも大切な個として尊重され、より良く成長できる。そんな教育活動こそ、今後さらにグローバルな視点からも大切にされていくのだと考えます。



机と椅子をひっくり返して、溜まったゴミを取り除きます。ああスッキリ。

○ 今年度も、子どもたちの学習・生活に多くのご協力をいただきました。



五年生の図工は、電動のこぎりを使った制作に取り組みました。自分の描いた下絵に沿って上手く切り出せるか、アドバイスを受けつつ慎重に進めます。

令和6年度も、地域のみなさまに学習ボランティアへたくさんのご参加をいただきました。家庭科の調理実習や水泳の監視、マラソン大会の見守り、図工の彫刻刀、算数の九九暗唱など、子どもたちの学習の安全と安心を支えていただきました。子どもたちのつまずきにも、ちょっとしたヒントで考える道筋をつけ、励ましてもらうなど、あたたかな交流の場としても貴重な時間となりました。

また読書に関しては、家に帰ってから本を読むということが年々少なくなっているという課題があり、図書室や学年の教室でも、文章量のしっかりした物語や伝記などの本を自分で読み進めている姿が減っているように感じています。

そんな中、読み聞かせボランティアのホビットさんには、思わず聞き入ってしまう楽しい本との出会いを毎回工夫していただきました。読めるようになるには、読んでもらうことも大事な学習体験で、子どもたちも楽しみにしています。

高向小学校の子どもたちを支えていただいた地域のみなさま、保護者のみなさま、ありがとうございました。新年度も、どうぞよろしくお願いいたします。



◎花ボラや見守り隊に、ご参加ご希望の方を募集中です。学校 52-2129 までご連絡ください。

お別れ集会では、各学年の歌や合奏と、全校で「ビリーブ」を合唱し、詩「いのちのバトン」を群読。最後は、見守り隊の方に1年間の感謝の思いを伝えました。



読み聞かせの中で、一つのストーリーを集中して聞き続ける力、登場人物と一緒に話の世界にひたる心を育てていただいています。想像する、類推するなど多くの思考力が身につきます。ぜひ、ご家庭でも読書の楽しいひとときを。